

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011001	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 真弓 / Nishihara Mayumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	nishihara kwassui.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	nishihara@kwassui.ac.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業の前後に質問を受けます。それ以外はメールで質問を受け付けます。nishihara@kwassui.ac.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語で、4技能(読む、聞く、話す、書く)を駆使しながら、情報を正確に理解し、自分が発信したいことを論理的にわかりやすく表現する能力を身につけることを目的とした授業です。NHK国際放送で取り上げられた英語ニュースを視聴し情報を理解した上で、自分の意見を発信したり、他の意見を取り入れたりしながら、多角的に考察していく授業です。		
授業到達目標/Course goals	この授業を通して、以下のような力をつけていくことを目標としています。 1. 多様な分野に渡るニュースを英語で理解し、その概要をわかりやすくまとめ英語で発信することができるようになる。 2. 現代日本で、地域社会及び将来世代に貢献するためにどのようなことがなされているのか理解し、さらに、自分がどのような貢献ができるか考え意見交換をすることができるようになる。 3. グループディスカッションやペアワークを通して、主体的に、協働的に課題に取り組むことができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-learning教材学習テスト40% + 授業内に示される提出課題10% + 定期試験50% = 合計100点のうち、60点以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	語学学習は授業中の学習だけでは十分ではないため、大学が指定しているe-learning教材もコツコツ毎日取り組むようにしてください。また、授業内で紹介する英語ニュースも見るようにしてください。		
キーワード / Key word	英語運用能力、主体的、協働的な取組		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	山崎達朗他『NHK NEWSLINE』(金星堂)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	テキストの読み物を土台に、自分の考えや情報の共有をペアやグループでもしてもらいます。自分から考えて行動することでグループワークを有意義なものにし、英語をできるだけたくさん使うようにしてください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
10月1日	Unit 1 Tea for You
10月15日	Unit 2: Small is Beautiful
10月22日	Unit 3 Youth Trip for Mutual Understanding
10月29日	Unit 4 Building a Language Bridge
11月5日	e-learning教材学習テスト Unit 5 Sizzle and the City
11月12日	Unit 6 Summer Spooks
11月19日	Unit 7 Hitmaker
11月26日	Unit 8 Daughters of the Soil
12月3日	Unit 9 Engaging Youth in Politics
12月10日	Unit 10 Magic in Moonlighting
12月17日	Unit 11 On Your Bike
1月7日	e-learning教材学習テスト 二回目 Unit 12 Designing Nations
1月15日	Unit 13 Litter Buster
1月21日	Unit 14 Leveling the Playing Field
1月28日	Unit 15 Wearing Tech on Your Sleeve
2月4日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011002	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	寺田 よしみ / Terada Yoshimi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	terasan1123 outlook.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	terasan1123@outlook.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	質問は授業中、授業の前後、若しくはEメールにて受け付けます。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	既得の英語の知識を整理しながら、自己発信力を持つ実用的な英語への発展を図ります。授業は簡単なリスニングから始まり、テキスト各ユニットのトピックに関するディスカッションで終わります。また、リーディングにおいては、速読の力をつけるため、スラッシュリーディングと大意把握の練習を行います。リスニングでは、リピーティング、シャドーイングをトレーニングとして採用しています。アウトプットの多い授業展開となります。		
授業到達目標/Course goals	<p>◎実用英文法の理解</p> <p>Aリスニングにおいて、明確で標準的な話し方であれば、意味をだまかに聞き取ることができる。</p> <p>Bリーディングにおいて、500-700語の文章であれば、各段落の要点をつかみ、要約をすることができる。</p> <p>Cリーディングにおいて、平易な文章であれば速読ができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
/ Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
/ Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
/ Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
/ Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
/ Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
/ It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>e-learning教材学習テスト 40% (1回目20%、2回目20%)</p> <p>授業態度 10%</p> <p>中間テスト 20%</p> <p>期末テスト 30%</p>		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習として、テキストの次回ユニットの問題を解きます。わからない単語は調べておいてください。事後学習としては、ウォームアップで行ったパッセージトレーニングを復習するとリスニングの上達に効果的です。		
キーワード/Key word			
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Core English for Global Communication (朝日出版社) 初回授業日に販売しますので、購入してください。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	<p>長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。</p> <p>アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp</p>		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	授業への積極的な参加と予習を期待します。発表の機会が多いと考えて下さい。辞書は必携です。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1/ 10月1日	<p>◎オリエンテーション(テキスト内容の説明、授業の進み方、中間・期末テストの説明、e-learningの確認等)</p> <p>A英語学習に役立つツール、教材、書籍、サイトの紹介。 Bテキストの予習のポイント、注意点などの説明を受けながら、テキストUnit 1に取り組みます。</p>
2/ 10月15日	<p>◎テキストUnit 1 (Hometown) 語彙問題、穴埋め問題、選択問題、長文の大意把握・要約、ディスカッションに取り組みます。選択問題においては、「何となく」ではなく、選択の根拠を答える必要があります。リーディングにおいては、指定された段落をスラッシュリーディング方式で意味をとった後、各段落の要約を行います。</p>
3/ 10月22日	<p>◎ウォームアップとして、短いセンテンスを使って、リスニング、リピーティングを行います。 AテキストUnit 2 (Student Life-Studies) 授業の様式はUnit 1と同様です。</p>
4/ 10月29日	<p>◎ウォームアップとして、短いセンテンスを使って、リスニング、リピーティングを行います。 AテキストUnit 3 (Student Life-Free Time) 授業の様式はUnit 1と同様です。</p>
5/ 11月5日	<p>◎e-learning教材学習テスト1回目 A配布資料を使用してディクテーションを行い、自分の間違いを分析します。ディクテーションの後、サイトトランスレーションを行います。</p>
6/ 11月12日	<p>◎ウォームアップとして、短いセンテンスを使って、リスニング、リピーティングを行います。 AテキストUnit 4 (Mealtime) 授業の様式はUnit 1と同様です。</p>
7/ 11月19日	<p>◎ウォームアップとして、短いセンテンスを使って、リスニング、リピーティングを行います。 AテキストUnit 5 (Health) 授業の様式はUnit 1と同様です。 B中間テスト範囲と既習内容の確認をします。</p>
8/ 11月26日	<p>◎中間テスト (60分) Unit 1~Unit 5の既習内容が範囲となります。 Aビデオを使用したリスニング問題に取り組みます。</p>
9/ 12月3日	<p>◎ウォームアップとして、100語程度のパッセージを使って、リスニング、サイトトランスレーション、オーバーラッピング、シャドーイングを行います。 AテキストUnit 6 (Leisure) 授業の様式はUnit 1と同様です。</p>
10/ 12月10日	<p>◎ウォームアップとして、100語程度のパッセージを使って、リスニング、サイトトランスレーション、オーバーラッピング、シャドーイングを行います。 AテキストUnit 7 (Work) 授業の様式はUnit 1と同様です。</p>
11/ 12月17日	<p>◎ウォームアップとして、100語程度のパッセージを使って、リスニング、サイトトランスレーション、オーバーラッピング、シャドーイングを行います。 AテキストUnit 8 (Shopping) 授業の様式はUnit 1と同様です。</p>
12/ 1月7日	<p>◎e-learning教材学習テスト2回目 A配布資料を使用してディクテーションを行い、自分の間違いを分析します。ディクテーションの後、サイトトランスレーションを行います。</p>
13/ 1月15日	<p>◎ウォームアップとして、100語程度のパッセージを使って、リスニング、サイトトランスレーション、オーバーラッピング、シャドーイングを行います。 AテキストUnit 9 (The Seasons) 授業の様式はUnit 1と同様です。</p>
14/ 1月21日	<p>◎ウォームアップとして、100語程度のパッセージを使って、リスニング、サイトトランスレーション、オーバーラッピング、シャドーイングを行います。 AテキストUnit 10 (The weather) 授業の様式はUnit 1と同様です。</p>
15/ 1月28日	<p>◎テキストUnit 11 (Food and Culture) 授業の様式はUnit 1と同様です。 A期末テスト範囲と既習内容の確認をします。</p>
16/ 2月4日	<p>◎期末テスト (60分) Unit 6~Unit 11の既習内容が範囲となります。</p>

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/28		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011003	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	r_otsubo hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー/Office hours	E-mailで受け付けます。r_otsubo hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	インフレ、デフレ、自由貿易、TPPなど幅広い経済事情を扱った英文を通し、今の日本社会が抱えている経済問題について理解を深める読解を中心とした授業です。また、各トピックに関連するリスニングを通して経済・ビジネス専門用語の定着を図ります。		
授業到達目標/Course goals	1. 地域の視点から多様性を理解する態度・志向性を身につけることができる。 2. 論理的・批判的に物事を考える能力を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への取り組み・復習テスト20% + e-Learning 教材学習テスト40% + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	An Insight into the Japanese Economy 英語で学ぶ日本の経済とビジネス 三修社 ¥1,800 + 税		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加について Introduction で説明をしますので必ず1回目の授業に出席して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	教科書販売・Introduction		
2回目	Job Market in Transition		
3回目	復習テスト Women in Business		

4回目	復習テスト Population Crisis
5回目	e-Learning 教材学習テスト1回目 Going Global
6回目	復習テスト Financial Reform
7回目	復習テスト The Lost Years
8回目	復習テスト Emerging Markets
9回目	復習テスト Environmental Management
10回目	復習テスト New Work Style
11回目	復習テスト Stocks and Cross-Shareholding
12回目	e-Learning 教材学習テスト2回目 The Dollar-Yen Exchange Rate
13回目	復習テスト GDP and Economic Growth
14回目	復習テスト Inflation and Deflation
15回目	復習テスト Free Trade and TPP
16回目	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011004	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students	水産学部 F (英1)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikeda_shiga yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	サイエンス・コミュニケーションという、思考の方法を学び、生活や専門の研究に取り入れる。興味深い内容の、多彩なトピックの英文を通して、物事に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す・書くの英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。ダイアログを学び、実用的な英語を習得する。また、物事に対する考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Course goals	サイエンス・コミュニケーションを学び、自分の生活に役立てることができる。様々な事象に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。文法を復習する。基礎的な能力を確かなものにし、応用的な英語の運用ができるようになる。ダイアログを学び、有用な英語表現ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、e-learning教材学習テスト 40%、小テスト 10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード / Key word	サイエンス・コミュニケーション / リーディング / リスニング / ダイアログ / 英文法 / 多彩な関心を引くトピック		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『Science Communication in English サイエンス・コミュニケーション』(谷口真理: 朝日出版社) 音声教材は、無料でダウンロードできます。 http://text.asahiprerss.com/free/english 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月2日	導入・授業内容の説明
第2回 10月9日	Unit 1 Science and Communication
第3回 10月16日	Unit 2 Engineered Sakura
第4回 10月23日	Unit 3 Science Is for Everyone
第5回 10月30日	Unit 4 Galileo and Science Communication
第6回 11月6日	【第1回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 5 What Is Information ?
第7回 11月13日	Unit 6 The Advent of Writing
第8回 11月20日	Unit 7 Leonardo da Vinci's Perspective
第9回 11月27日	Unit 8 Scientific Insight into Colors
第10回 12月4日	Unit 9 Science Communication Activity
第11回 12月11日	Unit 10 Into the Future
第12回 12月18日	Unit 11 Communication through Occupation
第13回 1月8日	【第2回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 12 The Hope of and Anxiety over Robots and Automation
第14回 1月22日	Unit 13 Technology and Gambling Addiction
第15回 1月29日	Unit 15 Water Crisis
第16回 2月12日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011005	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	濱崎 大 / Hamasaki Dai		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students	F(英2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hamasaki_wesleyan.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	単位に関するお問い合わせ、異議申し立ては、事務を通して行ってください。		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師室在中可		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	大学の勉強に必要な構文をより多く学ぶ機会を増やし、パターンで覚えるのではなく、その場の状況を判断しながら日本語訳、英語訳に向かう対応力、判断力、そして応用力をつけていきます。辞書に安易に頼るのではなく、日本語・英語の相違点の認識や文脈に頼りながら解決する読解力もつけていきます。		
授業到達目標/Course goals	日本語とは語順の違う英語を、より早く、より自然に日本語訳できるように、つまり“理解”できるようになります。 また、長崎大学があげる全学共通の6つのディプロマポリシーを段階的に習得できるよう、基礎作りを行う。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Positive Class Participation: 15% 課外学習のe-learning 40% (e-learning 教材学習テスト 1回目20%、2回目20%) 課外学習のe-learningに関しては第1回目の授業の際に説明します。 Final Examination 45%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	事前学習: 次回のUnitで未習熟の単語を確認、内容の把握(持てる力の範囲で) 事後学習: 学んだUnit内での新情報の確認、内容の確認と解説されたものの理解程度を確認		
キーワード/Key word	脱受験英語、量的学習を質的学習へ		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading from Health and Nutrition News 金星堂 各自持っている参考書、辞書(英和、和英)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	全講義出席が原則。ただし、正当な理由で欠席する場合は個人指導を行う。(課外クラブ活動に関しては正当な理由とは認められません。)講義、演習の妨害行為は大人のモラルをもって自重してください。(スマートフォンの操作等) 無断欠席回数が講義回数の1/3に達した時点で、Class Participationの評価は0%にいたします。 欠席報告(公欠)は後日、欠席届けを提出してください。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理配慮のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談ください。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (EMAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	e-learningテスト詳細は担当教員により授業時に説明が行われます。また、掲示にもよく注意しておいてください。再履修を申し出る学生は、必ず1回目の講義を受講して下さい。授業の注意点や、e-learningに関する情報など、単位に関わる大切な情報をお伝えする重要な講義になっております。 。授業開始2回目以降に再履修を申し出る学生は、1回目の講義を受けなかった理由を明確にお伝えください。理由によっては、再履修受け入れを拒否させていただく場合があります。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月2日	Introduction シラバスの解説、授業における注意事項、e-learningの解説
第2回 9日	Unit 1 Singapore 's Love Potion Heads to Markets Overseas
第3回 16日	Unit 2 Bird Flu May Have Passed Between Siblings
第4回 23日	Unit 3 Foreign Staff Get OK for Emergency Training
第5回 30日	Unit 4 Study: Two Languages Help to Keep the Mind Young
第6回 11月6日	Unit 5 Experts Will Feed Infected Brains to Cows 1回目 e-learning 教材学習テスト
第7回 13日	Unit 6 New Alcohol-Flavored Biscuits Not to Everyone 's Taste
第8回 20日	Unit 7 Study: Tea Drinking May Protect Against Alzheimer 's Disease
第9回 27日	Unit 8 Study: Melatonin May Help Lower High Blood Pressure
第10回 12月4日	Unit 9 Fat Kids Singled Out for Extra Exercise
第11回 11日	Unit 10 Study: Air Worse in Smoky Bars Than on Truck-choked Roads
第12回 18日	Unit 11 Researchers: Church Candles and Incense Pose Health Risks
第13回 1月8日	Unit 13 U.N. Vet Spreads Goodwill in War-Torn Lebanon 2回目 e-learning 教材学習テスト
第14回 22日	Unit 13 Woman Listed as World 's Oldest Person Dies in Puerto Rico at 114
第15回 29日	学期末試験に向けて総評 Unit 14
第16回	Final Examination 2月5日、2月12日のどちらかを予定。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011006	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (F(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	水 F(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:10~12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしてアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	1・英語を発話することに慣れる 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させる (TED English central) 3・グループワークを通し他のグループメンバーといかに協力しプレゼンテーションを成功の為に自ら考え実行に移す		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Speaking Practice (10点) + プレゼンテーショングループ評価 (20点) + 定期試験 (20点) + レポート提出 (10点) + e-learning教材学習テスト (40点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿に関しても期日までに作成終了するよう授業時間で終われない分は事後学習になります。また、英語環境を作るために英語で英語やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。各自目指している英語の試験がある場合は問題集などに取り組みましょう。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にプリントを配布します		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるように、この授業を通し練習をします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10/2	Orientation Speaking activity Group activity
第2回 10/9	Listening activity Speaking activity Group activity
第3回 10/16	Listening activity Speaking activity Group activity
第4回 10/23	Listening activity Speaking activity Group activity
第5回 10/30	Listening activity Speaking activity Group activity
第6回 11/6	e-learning教材学習テスト 1回目 Speaking activity Group activity (リハーサル)
第7回 11/13	プレゼンテーション 1回目
第8回 11/20	Listening activity Speaking activity Group activity
第9回 11/27	Listening activity Speaking activity Group activity
第10回 12/4	Listening activity Speaking activity Group activity
第11回 12/11	Listening activity Speaking activity Group activity
第12回 12/18	Listening activity Speaking activity Group activity
第13回 1/8	e-learning教材学習テスト 2回目 Speaking activity Group activity (リハーサル)
第14回 1/22	プレゼンテーション 2回目
第15回 1/29	Listening activity Speaking activity
第16回 2/5	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011007	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students	多文化 (G3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日 12:10-12:30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。学生同士で様々なトピックに関して英語で意見交換および会話をし、英語の運用能力向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> 1・自分が話す事が出来る内容の英語の幅を広げる 2・積極的に新しい単語を学び、授業内で実戦的に使用することにより使える単語量を増やす 3・英語での様々なトピックに関する動画の内容理解、及びそれに関係して英語で意見が言えるようになる 4・グループプレゼンテーションを通し、話し方や英語でのプレゼンテーションすることへ慣れ自信をつける 4・e-learningを通しinputを行うとともに授業内のoutput型のactivityを使ってバランス良く英語力を向上させる 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<ul style="list-style-type: none"> A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers 		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Speaking Practice (10点) + プレゼンテーショングループ評価 (20点) + 定期試験 (20点) + レポート提出 (10点) + e-learning教材学習テスト (40点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の授業の際に自分でトピックを事前に考えてきてフリートークをクラスメイトと行います。その為のテーマを授業前に必ず考えてみてください。その際はぜひ今まで英語で話したことのなかったトピックを選び、新たな単語や表現を積極的に学び、授業中に使用して身につけてください。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にプリントを配布します。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	英語の総合力を高めるために実践的な英語使用の練習を授業内に行います。今まで学んできた文法や単語を使用することはもちろんですが、新たな言葉や表現などを積極的に学んでください。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10/2	Orientation Speaking activity Group activity
第2回 10/9	Speaking & Listening activity Group activity
第3回 10/16	Speaking & Listening activity Group activity
第4回 10/23	Speaking & Listening activity Group activity
第5回 10/30	Speaking & Listening activity Group activity
第6回 11/6	e-learning教材学習テスト @ Speaking & Listening activity Group activity(rehearsal)
第7回 11/13	Presentation @
第8回 11/20	Speaking & Listening activity Group activity
第9回 11/27	Speaking & Listening activity Group activity
第10回 12/4	Speaking & Listening activity Group activity
第11回 12/11	Speaking & Listening activity Group activity
第12回 12/18	Speaking & Listening activity Group activity
第13回 1/8	e-learning教材学習テスト A Speaking & Listening activity Group activity(rehearsal)
第14回 1/22	Presentation A
第15回 1/29	Speaking & Listening activity Group activity
第16回 2/5	Examination

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011008	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students	(E英(4))		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火3 水4 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	CD教材のテキスト中に登場する重要構文や表現に関して、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し自然と発話できるように訓練する。またCD教材の各ビニエットは、英文を聞いて内容の重要部分が聞き取れるように、様々なタスクを用いて訓練する。読解に関しては、TOEFL読解問題を利用して速読の練習を行い、英文をはやく正確に読む訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 様々な話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報や考えを理解することができる。 2) 様々なテーマを扱ったアカデミックな内容の英文を読んで、必要な情報や考えを理解することができる。 3) テキストの内容を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	成績評価は、定期試験40%、e-learning教材学習テスト40%、プレゼンペーパー等の提出物10%、授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回課せられる範囲の学習。 ほぼ毎回行われる小テストのための学習。		
キーワード / Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies、 Scanning、 Skimming		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト) : The Picture of Health (南雲堂) ¥1,700		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材(3 Step やパワーワーズ)やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション, Reading (生態系関係のエッセイ) Business English Flu (1) 3 - STEP American Daily Life Power Words Unit 1-5
第2回	Reading (物理関係のエッセイ) Business English Flu (2) 3 - STEP American Daily Life Power Words Unit 6-10
第3回	Reading (環境問題関係のエッセイ) Business English Flu (3) 3 - STEP American Daily Life Power Words 小テスト
第4回	Business English Flu (4) 3 - STEP American Daily Life Power Words Unit 11-15
第5回	Reading (歴史関係のエッセイ) Business English Flu (5) 3 - STEP American Daily Life Power Words Unit 16-20 小テスト
第6回	e-learning教材学習テスト第1回目 Reading (考古学関係のエッセイ)
第7回	Business English Flu 復習テスト Reading (地理関係のエッセイ) 3 - STEP American Daily Life Power Words Unit 21-25
第8回	Reading (医学関係のエッセイ) Business English Good Posture (1) 3 - STEP American Daily Life Power Words Unit 26-30 小テスト
第9回	Reading (医学関係のエッセイ) Business English Good Posture (2) 3 - STEP American Daily Life Power Words Unit 31-35
第10回	Reading (化学関係のエッセイ) Business English Good Posture (3) 3 - STEP American Daily Life Power Words Unit 36-40 小テスト
第11回	Reading (言語関係のエッセイ) Business English Good Posture (4) 3 - STEP American Daily Life Power Words Unit 41-45
第12回	Reading (多文化関係のエッセイ) Business English Good Posture (5) 3 - STEP American Daily Life Power Words Unit 46-50
第13回	e-learning教材学習テスト第2回目 トピック題材を用いたプレゼンテーショングループワーク (1)
第14回	Business English Good Posture 復習テスト トピック題材を用いたプレゼンテーショングループワーク (2)
第15回	トピック題材を用いたプレゼンテーション代表者コンテスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011009	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Target students	経済学部 E(英5)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikeda_shiga yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	イギリスに関する興味深い内容の英文を通して、英語に対する関心を高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、イギリス文化と英語について、イギリスと日本の比較文化という観点から、考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Course goals	イギリスとイギリス文化に対して関心を持ち、英語の習得に役立てることができる。話したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験50%、e-learning教材学習テスト40%、小テスト 10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	イギリス英語 / リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / イギリスとその文化 / イギリスと日本との比較文化		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Cross-Cultural Views on Britain 『比較文化で考えるイギリスと日本』 (Richard H. Bent / 井石哲也 / 井石令子: 南雲堂) (CD付き) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月2日	導入・授業内容の説明
第2回 10月9日	Unit 1 The Royal Mail
第3回 10月16日	Unit 2 British Sports Everywhere
第4回 10月23日	Unit 3 The Beatles Forever !
第5回 10月30日	Unit 5 Great Novelists
第6回 11月6日	【第1回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 4 From the Cradle to the Grave
第7回 11月13日	Unit 6 History of the Royal Families
第8回 11月20日	Unit 7 Pound or Euro ?
第9回 11月27日	Unit 8 What is the Tube ?
第10回 12月4日	Unit 9 Two-Party Politics ?
第11回 12月11日	Unit 10 Art Collections in Britain
第12回 12月18日	Unit 11 New House, Old House
第13回 1月8日	【第2回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 12 Are British Foods Tasty ?
第14回 1月22日	Unit 13 Newspaper, TV or iPad ?
第15回 1月29日	Unit 14 Public School and Hogwarts
第16回 2月12日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/29		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011010	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (E(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	E 6		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター 1F (教養教育棟B棟 1F)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2380		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日 2限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	4年間の基礎となる英語力を身につけ、実践的な英語の運用能力を養成する。また、グループワークやグループ発表を通して、他者と関わりながら英語力を養う大切さを学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にあった英語の学習方法を身につけることができる。 ・ある場面において適切な英語表現を使って、相手に自分の考えを伝えることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-learning教材学習テスト(2回) : 40% 授業中の取り組みと発表評価 : 25% 期末テスト : 25% e-learningポートフォリオ : 10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	事前にビデオ教材を視聴し、課題に取り組む。課題は、LSCSにて提出する。ビデオ教材については、随時教員から配布する。		
キーワード / Key word	学習方略、ストーリー、ライティング、プレゼンテーション、		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book			
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	

1	オリエンテーション アンケートへの回答 グループ分け	F
2	英語の学習方法について考える これまでの学習法 他者の学習法 学習法の問題点	A B
3	英語の学習方法について学ぶ Language learning styles and strategiesに関するプリントを読み、 理解する。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
4	英語の学習方法について学ぶ Language learning styles and strategiesに関するプリントを読み、 理解する。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A D
5	英語の学習方法について学ぶ 3、4回目の授業で学んだ知識をもとに、実践計画を立てる。 グループでディスカッションを行う。	A B
6	e-learning教材学習テスト(1回目) 英語の学習方法について学ぶ 実践した内容、感想を英語でまとめる。	A B
7	英語の学習方法について学ぶ 6回でまとめた内容を英語で発表する。	A B D
8	発表の評価をフィードバック 本の読み方を考える Readingの大切さを考える 自分のReading力について考える	A B
9	本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
10	本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
11	本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
12	本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
13	e-learning教材学習テスト(2回目) 本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
14	本の読み方を学ぶ "How to read a book"に書かれている内容を読み解く。 グループで内容確認とディスカッションを行う。	A B
15	まとめ	F
16	期末テスト	E

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011011	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生(クラス等) / Target students	M1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日3限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	論理的に英文の大意を素早く捉え、英語語で要約する訓練やE-mailの書き方の訓練を行う。とりわけ、英語圏への留学を想定した実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業到達目標/Course goals	英語圏への留学を想定し、英語でのE-mailの書き方を身につける。 Essay Writingの書き方、考え方を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	e-learning教材学習テスト(2回): 40% 授業中の取り組み: 30% 課題の提出: 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	ビデオ教材を視聴し、課題の提出をすること。		
キーワード/Key word	E-mail, Essay Writing, Logical Thinking		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	

第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習方法についての説明 アンケートの実施 E-mailを英語で書いてみよう	A B
第2回	E-mailの書き方 ② E-mailの基本的な書き方について考える。	A B
第3回	E-mailの書き方 A E-mailの送信元、送信先、タイトルの書き方について学ぶ。	A B
第4回	E-mailの書き方 B E-mailの本文の書き方について学ぶ。	A B
第5回	E-mailの書き方 C E-mailの返信の書き方について学ぶ。	A B
第6回	e-learning教材学習テスト(1回目) Essay Writing ② Logical Thinkingについて考える。	A B
第7回	Essay Writing A Logical Thinkingについて学ぶ。 グループでディスカッション	A B
第8回	Essay Writing B Logical Thinkingについて学ぶ。 グループでディスカッション	A B
第9回	発表	A B
第10回	前回のフィードバック Essay Writing C Essay Writingの書き方を学ぶ。	A B
第11回	Essay Writing D Essay Writingの書き方を学ぶ。 Body Paragraph Peer review	A B
第12回	Essay Writing E Essay Writingの書き方を学ぶ。 Body Paragraph Peer review	A B
第13回	e-learning教材学習テスト(2回目) Essay Writing F Essay Writingの書き方を学ぶ。 Conclusion Paragraph Peer review	A B
第14回	Essay Writing G Essay Writingの書き方を学ぶ。 Introduction Paragraph Peer review	A B
第15回	総復習と振り返り	A B

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011012	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	小笠原 真司 / Ogasawara Shinji		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students	(M2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogasa-s nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	環境科学部1階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2094		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火3 水4 木3		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	CD教材のテキスト中に登場する重要構文や表現に関して、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化し自然と発話できるように訓練する。またCD教材の各ビニエットは、英文を聞いて内容の重要部分が聞き取れるように、様々なタスクを用いて訓練する。読解に関しては、TOEFL読解問題を利用して速読の練習を行い、英文をはやく正確に読む訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1) 様々な話題をとりあげたCD教材を聞いて、必要な情報や考えを理解することができる。 2) 様々なテーマを扱ったアカデミックな内容の英文を読んで、必要な情報や考えを理解することができる。 3) テキストの内容を利用してプレゼン用の原稿を作成し、プレゼンを行うことができる。 4) 他のスピーカーのプレゼン内容へのコメントや意見交換ができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	成績評価は、定期試験40%、e-learning教材学習テスト40%、プレゼンペーパー等の提出物10%、授業でのアクティビティ、小テスト 10% で行います。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回課せられる範囲の学習。 ほぼ毎回行われる小テストのための学習。		
キーワード / Key word	Repeating, Pair Work, Listening Strategies, Scanning, Skimming		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	教科書(テキスト): The Picture of Health (南雲堂) ¥1,700		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	英語の力をつけるためには、授業の予習、復習に加えて、自分で英語学習を作りだし、英語の教材にチャレンジすることが大切です。長崎大学で推薦しているe-learning教材(3 Step やパワーワーズ)やNHKテレビやラジオの英語講座などがおすすめです
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション, Reading (生態系関係のエッセイ) Business English Flu (1) 3 - STEP People at Work Power Words Unit 1-5
第2回	Reading (物理関係のエッセイ) Business English Flu (2) 3 - STEP People at Work Power Words Unit 6-10
第3回	Reading (環境問題関係のエッセイ) Business English Flu (3) 3 - STEP People at Work Power Words 小テスト
第4回	Business English Flu (4) 3 - STEP People at Work Power Words Unit 11-15
第5回	Reading (歴史関係のエッセイ) Business English Flu (5) 3 - STEP People at Work Power Words Unit 16-20 小テスト
第6回	e-learning教材学習テスト第1回目 Reading (考古学関係のエッセイ)
第7回	Business English Flu 復習テスト Reading (地理関係のエッセイ) 3 - STEP People at Work Power Words Unit 21-25
第8回	Reading (医学関係のエッセイ) Business English Good Posture (1) 3 - STEP People at Work Power Words Unit 26-30 小テスト
第9回	Reading (医学関係のエッセイ) Business English Good Posture (2) 3 - STEP People at Work Power Words Unit 31-35
第10回	Reading (化学関係のエッセイ) Business English Good Posture (3) 3 - STEP People at Work Power Words Unit 36-40 小テスト
第11回	Reading (言語関係のエッセイ) Business English Good Posture (4) 3 - STEP People at Work Power Words Unit 41-45
第12回	Reading (多文化関係のエッセイ) Business English Good Posture (5) 3 - STEP People at Work Power Words Unit 46-50
第13回	e-learning教材学習テスト第2回目 トピック題材を用いたプレゼンテーショングループワーク (1) 3 - STEP People at Work Power Words 小テスト
第14回	Business English Good Posture 復習テスト Reading (薬学関係のエッセイ) トピック題材を用いたプレゼンテーショングループワーク (2)
第15回	トピック題材を用いたプレゼンテーション代表者コンテスト
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011013	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生(クラス等) / Target students	M3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00? (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語)?必要最低限の英語(及び米語)?を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	<p>①英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>A習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>B習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>C各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>D英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>E日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>F異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のe-Learning教材学習テスト40%(1回目20%+20%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード / Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks (URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』?分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-Learning教材学習テスト(1回目)、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化 ①)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化 A)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	Greetings Clinical Hints (Wh Questions)
第12回	Abdominal Pain (Possible disease : acute gastritis) Physical Examination of the Abdomen/Endoscopy
第13回	e-Learning教材学習テスト(2回目) Cough, Fever, and Headache (Possible disease : acute bronchitis) Physical Examination of the Chest and Back
第14回	Chest Pain (Possible disease : angina pectoris) Vital Signs and ECG
第15回	Problem Found at the Medical Checkup (Possible disease : diabetes) Urine Test and Blood Test まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に医療英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 1
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011014	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students	環境科学部 K 1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikedashiga@yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	環境や健康などの問題に関するCNNニュースを用いて、興味深い内容の英文を通して、環境問題や健康、および世界情勢に対する関心をさらに高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、書く・話すための英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。テキストの練習問題を通して、英語の4技能の総合的な向上を目指す。		
授業到達目標/Course goals	環境問題や健康に対して関心を持ち、考えを深めることができる。書いたり話するための表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養い、さらに向上させる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基礎を養成し、確かなものに行うことができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験の成績を50%、e-learning教材学習テストの結果を40%、小テストを10%を基準とします。 また、受講中の態度や活動を非常に重視しますので、注意しましょう。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨みましょう。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点が残らないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード / Key word	リーディング / リスニング / スピーキング / 環境 / 健康 / 医療 / CNNニュース / 世界情勢 / 英作文		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『CNNニュースを用いたリスニング・リーディング スキルアップ』(小笠原真司他: 朝日出版社)(CD付き) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には全回出席することを期待します。毎回必ず予習をしてCDを聴いてから臨みましょう。発声を伴う学習の際は、積極的に参加してください。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意をつかんでおきます。目標を定めて、たゆまぬ努力をしましょう。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月3日	導入・授業内容の説明
第2回 10月10日	Unit 1 Antislimming Hormones / Chocolate's Slimming Effects ?
第3回 10月17日	Unit 2 Early Birds Happier and Healthier ? / New Role for Insulin ?
第4回 10月24日	Unit 3 Reef under Growing Threat / Surprising Algae under Article Ice
第5回 10月31日	Unit 4 Cancerous Coloring ? / A Menu after One's Heart
第6回 11月7日	【第1回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 5 Clues to Einstein's Genius / Life Created from Skin Cells
第7回 11月14日	Unit 6 Gene Linked to Longer Sleep / Sleep Linked to Heart Health
第8回 11月21日	Unit 7 Amazon Dam Gets Go-ahead / Moving a Nation, Literally
第9回 11月28日	Unit 9 15 Million Tonnes Overweight / Penalties for Not Exercising
第10回 12月5日	Unit 10 Pandemic of Inactivity / Red Meat Tied to Early Death
第11回 12月12日	Unit 11 Debugging at Starbucks / New York Bans Large Sodas
第12回 12月19日	Unit 13 Dangerous Smog in Beijing / Record Smog in Beijing
第13回 1月9日	【第2回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 12 Panda-enhanced Tea / Tequila Museum in Mexico
第14回 1月16日	Unit 14 Concern about Quick-tempo TV / The Fear of Being Phoneless
第15回 1月23日	Unit 15 Sharks under Threat / Shark Fin Goes Off the Menu
第16回 2月6日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011015	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (G(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育B棟15 / RoomB-15		
対象学生 (クラス等) / Target students	G1 再履修受講不可		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日 1 限目		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	論理的に英文の大意を素早く捉え、英語語で要約する訓練やE-mailの書き方の訓練を行う。とりわけ、英語圏への留学を想定した実践的な英語の運用能力を養成する。		
授業到達目標/Course goals	英語圏への留学を想定し、英語でのE-mailの書き方を身につける。 Essay Writingの書き方、考え方を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	e-learning教材学習テスト(2回): 40% 授業中の取り組み: 30% 課題の提出: 30%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	ビデオ教材を視聴し、課題の提出をすること。		
キーワード/Key word	E-mail, Essay Writing, Logical Thinking		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	ビデオ教材、プリント教材は授業時に提示し、LACSにアップロードする。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	

第1回	オリエンテーション 教材の説明、シラバス、学習方法についての説明 アンケートの実施 E-mailを英語で書いてみよう	A B
第2回	E-mailの書き方 ② E-mailの基本的な書き方について考える。	A B
第3回	E-mailの書き方 A E-mailの送信元、送信先、タイトルの書き方について学ぶ。	A B
第4回	E-mailの書き方 B E-mailの本文の書き方について学ぶ。	A B
第5回	E-mailの書き方 C E-mailの返信の書き方について学ぶ。	A B
第6回	e-learning教材学習テスト(1回目) Essay Writing ② Logical Thinkingについて考える。	A B
第7回	Essay Writing A Logical Thinkingについて学ぶ。 グループでディスカッション	A B
第8回	Essay Writing B Logical Thinkingについて学ぶ。 グループでディスカッション	A B
第9回	発表	A B
第10回	前回のフィードバック Essay Writing C Essay Writingの書き方を学ぶ。	A B
第11回	Essay Writing D Essay Writingの書き方を学ぶ。 Body Paragraph Peer review	A B
第12回	Essay Writing E Essay Writingの書き方を学ぶ。 Body Paragraph Peer review	A B
第13回	e-learning教材学習テスト(2回目) Essay Writing F Essay Writingの書き方を学ぶ。 Conclusion Paragraph Peer review	A B
第14回	Essay Writing G Essay Writingの書き方を学ぶ。 Introduction Paragraph Peer review	A B
第15回	総復習と振り返り	A B

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011017	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students	P1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-learning教材学習テスト(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	プリント教材		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, プリント教材(1)		

第3回	Listening 2, プリント教材(2)
第4回	Listening 3, プリント教材(3)
第5回	Listening 4, プリント教材(4)
第6回	e-Learning教材学習テスト(1)約30分程度, プリント教材(5)
第7回	Listening 5, プリント教材(6)
第8回	DVD教材(1), プリント教材(7)
第9回	DVD教材(2), プリント教材(8)
第10回	Listening 6, プリント教材(9)
第11回	Listening 9, プリント教材(10)
第12回	Listening 10, プリント教材(11)
第13回	e-Learning教材学習テスト(2)約30分程度, プリント教材(12)
第14回	Listening 11, プリント教材(13)
第15回	まとめ
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011018	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (P2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students	薬学部 P2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikeda_shiga yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 12時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	クリティカル・シンキングという、思考の方法を学び、生活や専門の研究に取り入れる。興味深い内容の、多彩なトピックの英文を通して、物事に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。ダイアログを学び、実用的な英語を習得する。また、物事に対する考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Course goals	クリティカル・シンキングを学び、自分の人生に役立てることができる。様々な事象に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。文法を復習する。基礎的な能力を確かなものにし、応用的な英語の運用ができるようになる。ダイアログを学び、有用な英語表現ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、e-learning教材学習テスト 40%、小テスト 10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード/Key word	クリティカル・シンキング / リーディング / リスニング / ダイアログ / 英文法 / 英作文 / 多彩な関心を引くトピック		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	An Invitation to Critical Thinking 『クリティカル・シンキングのすすめ』(高垣俊之 / 河原俊昭 他: 南雲堂) (CD付き) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をしてCDを聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。CDを聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかんでおきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月3日	導入・授業内容の説明
第2回 10月10日	Lesson 1 What Is Critical Thinking ?
第3回 10月17日	Lesson 2 Write Your Problems on a Note Pad
第4回 10月24日	Lesson 3 Media Literacy: Don't Believe Everything the Media Say !
第5回 10月31日	Lesson 4 The Spirit of Wa (Harmony)
第6回 11月7日	【第1回 e-learning 教材学習テスト】 Lesson 5 Xenophobia
第7回 11月14日	Lesson 6 Telephone Message Game
第8回 11月21日	Lesson 7 Analyze Your Pattern of Thinking
第9回 11月28日	Lesson 8 The Difference between Fact and Opinion
第10回 12月5日	Lesson 9 The Pitfalls of the English Language
第11回 12月12日	Lesson 10 What Is Your Blood Type ?
第12回 12月19日	Lesson 12 Skepticism
第13回 1月9日	【第2回 e-learning 教材学習テスト】 Lesson 11 Gender Bias
第14回 1月16日	Lesson 14 Life after Trauma: PTSD and PTG
第15回 1月23日	Lesson 15 Facing Ambiguity
第16回 2月6日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011019	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T1) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Target students	T1		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Course goals	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、e-Learning教材学習テスト40% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてきてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	John H. Randle 『鼓動するイギリス』(成美堂、2018年)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可))。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回 (10月3日)	オリエンテーション
2回 (10月10日)	The Brexit Referendum(1)
3回(10月17日)	The Brexit Referendum(2) / The New Mayor of London(1)
4回 (10月24日)	The New Mayor of London(2) / Brits on Bikes(1)
5回 (10月31日)	Brits on Bikes(2) / Oxford and Cambridge: Looking to the Future(1)
6回 (11月7日)	e-Learning教材学習テスト1回目 / Oxford and Cambridge: Looking to the Future(2)
7回 (11月14日)	A Profile of Cornwall(1) / 英字新聞を読む
8回 (11月21日)	A Profile of Cornwall(2) / The Cost of Being Young Today(1)
9回 (11月28日)	The Cost of Being Young Today(2) / It All Began at Rugby School(1)
10回 (12月5日)	It All Began at Rugby School(1) / Britain and the Sea(1)
11回 (12月12日)	The Britain and the Sea(2) / Images of Scotland(1)
12回 (12月19日)	Images of Scotland(2) / "The New Look": Beards and Tattoos(1)
13回 (1月9日)	e-Learning教材学習テスト2回目 / "The New Look": Beards and Tattoos(2)
14回 (1月16日)	ペア発表
15回 (1月23日)	リスニング・リーディングのポイント確認
16回 (1月30日)	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011020	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	T2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	12:00? (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語)?必要最低限の英語 (及び米語)?を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	<p>①英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>A習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>B習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>C各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>D英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>E日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>F異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、e-Learning教材学習テスト40% (1回目20%+2回目20%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード / Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks(URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』?分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-Learning教材学習テスト(1回目)、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化 ①)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化 A)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	e-Learning教材学習テスト(2回目)、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011021	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T9) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟16 / RoomC-16		
対象学生 (クラス等) / Target students	T9		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	14:20? (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語 (及び米語)? 必要最低限の英語 (及び米語)? を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	<p>①英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>A 習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>B 習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>C 各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>D 英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>E 日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>F 異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動 (授業中の発表等) 10%、課外学習のe-Learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%) 等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード / Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座 (ハンドアウト教材)		

受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動(積極的かつ自発的な発言等)が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) / Remarks(URL)	
学生へのメッセージ / Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか) / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』?分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	e-Learning教材学習テスト(1回目)、連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化
第7回	『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化 ①)
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化 A)、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	e-Learning教材学習テスト(2回目)、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011022	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students	医学部 M4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikeda_shiga yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	世界の様々な優れた文学作品や、個性豊かな人々によって著された名作について、書かれた英文を熟読し、人類の優れた知恵や思想を学ぶ。科学技術の急激な発達の中にある今こそ、改めて人類の叡智に触れることにより、教養を高め、自己を磨く一助とする。常に自分で考え、教養を深め、研鑽に努めることが、将来医療従事者を目指す学生の皆さんには重要且つ必要不可欠です。英語の長文を正確に意味を理解して、読めるようになる。総合的な英語全般の能力について学び、復習し、さらには向上させる。特に、文法事項とパラグラフ・リーディングに重点を置き、英文の読解力と理解度を深める。		
授業到達目標/Course goals	世界の様々な人物や出来事に関する関心や知識を深め、また、それらを理解することができる。また、興味を持ち、自らの考えを持ち、説明することができる。英文の読解力を高め、意味を正確に読み取ることができる。総合的な英語力の養成をねらい、語句や文法事項の定着を図り、リーディングとリスニングの能力を伸ばすことができる。英文は古典の名文であり、高度なレベルのものが多く、さらなる読解力を養うことができる。テキストのExcerciseにより、リスニングとスピーキングの能力を伸ばすことができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、e-learning教材学習テスト 40%、小テスト 10%を基準とします。定期試験を筆記で行います。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、CDを聴き、問題を解いて授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード / Key word	古典によるリーディング・スキルの向上 / 優れた文学作品 / 世界の様々な事象 / 心と人生を豊かに / 教養を高める / 人文科学 / 自然科学 / 思想 / 映画		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『A Look at Love in Fiction 愛のテーマで英語を学ぶ』 (Fiona Wall Minami / 本山ふじ子: 朝日出版社) 音声教材は、無料でダウンロードできます。http://text.asahipress.com/free/english 英和辞典 (電子辞書) を必携すること。		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には、全回出席することを期待します。授業には、必ず予習をして臨みましょう。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。あらかじめ音声教材を聴き、英単語の意味を調べ、文章の大意を掴み、テキストの問題を解いておきます。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月3日	導入・授業内容の説明
第2回 10月10日	Chapter 1 Twilight
第3回 10月17日	Chapter 2 Romeo & Juliet
第4回 10月24日	Chapter 3 Gone with the Wind
第5回 10月31日	Chapter 4 Brokeback Mountain
第6回 11月7日	【第1回 e-learning 教材学習テスト】 Chapter 5 The Remains of the Day
第7回 11月14日	Chapter 6 Pride & Prejudice
第8回 11月21日	Chapter 7 Jane Eyre
第9回 11月28日	Chaper 8 Sons & Lovers
第10回 12月5日	Chapter 9 The Portrait of a Lady
第11回 12月12日	Chapter 10 The Great Gatsby
第12回 12月19日	Chapter 11 Love Story
第13回 1月9日	【第2回 e-learning 教材学習テスト】 Chapter 12 The Time Traveler's Wife
第14回 1月16日	Chapter 13 The Namesake
第15回 1月23日	Chapter 14 The Rosie Project
第16回 2月6日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011023	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	西原 俊明 / Nishihara Toshiaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生 (クラス等) / Target students	(M4)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-nishi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel	095-819-2095		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日13:00以降 他は、only by appointment		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。		
授業到達目標/Course goals	授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	評価は、e-learning学習(3Step Listening + Power Words)(40%)、小テスト(50%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。3StepとPower Wordsを用いてのe-Learning学習は、2回のテスト(11月5日?9日: 1月7日?11日)でもって学習を評価する。小テストは、原則、医学英語表現を対象として毎回行う。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	各ユニットの会話表現をアウトプットできるように準備してください。		
キーワード/Key word	Reading and listening strategies		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Medical English Clinic (センゲージ・ラーニング)		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	毎回、復習を行うこと。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を配布される電子化教材を用いて必ず復習すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	第1回 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明
第2回	第2回 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1)
第3回	第3回 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2)
第4回	第4回 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3)
第5回	第5回 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4)
第6回	第6回 弱く発音される音, 医者と患者の会話(5)
第7回	第7回 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、
第8回	第8回 聞こえなくなる音, 医者と患者の会話(5)、速読(2)
第9回	第9回 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、医者と患者の会話(6)
第10回	第10回 グループによるディスカッション(1)、速読(3)
第11回	第11回 なくなる音, 医者と患者の会話(7)、速読(4)
第12回	第12回 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3)
第13回	第13回 つながる音, 医者と患者の会話(8)、速読(5)
第14回	第14回 医者と患者の会話(9)、速読(6) まとめ Retellingとsummarizing、semantic mapを用いた学習
第15回	まとめ

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011024	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (M6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Target students	M6		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控え室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	ねらい: 簡単な英語で書かれたテキストを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、英文の理解を深めます。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標 / Course goals	到達目標: 大学入学時まで培われてきた総合的な学力を前提に辞書なしでもテキストの英語を読めるようになることを目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験60% e-Learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。		
キーワード / Key word	1400語の語彙で書かれたテキスト 英語史		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	The History of the English Language (Oxford Univ. Press) 第1回目の授業で教室にて販売します。 プリント		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.	定期試験の受講資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	A world language		
第3回	The beginnings of English		
第4回	Old English		
第5回	The Normans in England		

第6回	e-Learning教材学習テスト1回目
第7回	Middle English
第8回	Modern English begins
第9回	Bringing order to English
第10回	Modern English grows
第11回	English in the US
第12回	All kinds of English
第13回	e-Learning教材学習テスト2回目
第14回	Jargon and slang
第15回	The future of English

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011025	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (D1・D2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	有吉 由紀 / Ariyoshi Yuki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	akinatsuhana gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	akinatsuhana gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	非常勤講師控室 水曜日 12:00 - 13:00 akinatsuhana gmail.com		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	将来仕事をする上で必要となる基本的な英語コミュニケーション力を養成する授業です。簡潔で平易な英語表現を用いて、自己表現力と情報伝達力をペアワークやグループワーク通して身につけていきます。		
授業到達目標/Course goals	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語による自己紹介、ロールプレイ、情報交換が臆せずに行えるようになる。 2. シンプルな英語表現を用いて、適切な指示や案内ができるようになる。 3. 英語の記事やスピーチを読んだり、聞いたりすることを楽しめる。 4. 英語のリズムや発音の特徴を学び、リスニングとスピーキングに役立てることができる。 		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への取り組み・課題20%、期末試験40% e-learning教材学習テスト (1回目 - 20%、2回目 - 20%) 40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回の授業で学んだKey Phrase や要点を必ず復習して下さい。また、課題はグループワークを円滑に進め充実させるために、期限を守って取り組んで下さい。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業中に配布するプリント		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	自宅学習から授業中のペアワーク・グループワークまでを一つの流れと捉え、真摯に積極的に取り組んでください。英語で話すこと、調べること、聞くことが楽しくなるような参加型の授業にしていきたいと思っております。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	

10月3日	Accent, Rythm and Voice 大学生になった自分について(所属の学部、学科、専攻など) 簡単な自己紹介ができるようになります。ジェスチャー、音の強勢や声の大きさを意識することで、聞き取りやすい英語になることを学びます。	B
10月10日	Responding and Reflecting: 挨拶の基本を学び、様々な受け答えができるようにします。英語表現のニュアンスの違いを楽しめるようになります。	B
10月17日	Expressing your Strength: 自分の長所についての表現を学び、クラスの中で臆せず自己PRをしてみます。	B
10月24日	Listening to TED Speech(1): 有名なTEDスピーチのスピーカーについて英語で調べたり、スピーチを聞きとる演習をします。	B
10月31日	Listening to TED Speech(2): TED speechを聞いて、グループで話し合い、positive and negative words を使ってみんなの考えを表現していきます。 一つの形容詞から表現を増やしていく方法を学びます。	B
11月7日	第一回e-learning教材学習テスト Authenticな英語に触れ、英語の感覚を楽しみます。	B
11月14日	Role Play (1) On Campus: Describing one's schedule & making an appointment 自分の日課を英語で簡潔に表現できるようにします。 英語でアポがとれるようになります。	B
11月21日	Role Play (2) At a Dentist: Making an appointment at a reception 歯科クリニックの受付での対応に必要な表現を学び、使えるようにしていきます。	B
11月28日	Role Play (3) At a Dentist: Filling out a questionnaire 歯科クリニックで患者さんの情報を聞き取る練習をし、なめらかな会話ができるようになります。	B
12月5日	Role Play (4) At a Dentist: Talking to a patient 歯科クリニックで必要となる基本的な指示や案内の表現を学びます。	B
12月12日	Role Play (5) At a Hospital: Giving Directions 道案内の基本を復習し、病院の中の場所を的確にわかりやすく案内できるようにします。	B
12月19日	Role Play (1)-(5) 総復習	B
1月9日	第二回e-learning教材学習テスト Authenticな英語に触れ、英語の感覚を楽しみます。	B
1月16日	Reading and Summarizing an Article (1): 英語の記事を読み、要約の仕方を学びます。	B
1月23日	Reading and Summarizing an Article(2): 英語の記事を読み、要約の仕方を学びます。 授業の総括	B
1月30日	定期試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011026	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T10) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	中村 吏花 / Nakamura Rika		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	中村 吏花 / Nakamura Rika		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生(クラス等) / Target students	T10		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)(メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel	arthur410_hotmail.co.jp(必ず件名に授業科目・学生番号・氏名を記入すること)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜昼休み、授業前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	様々な場面設定でのリーディングとリスニング学習。速読で大意をつかみ、精読で正確な読解をする。インターネット、音楽、プリントなどを使った文化や社会事情の学習を含む。		
授業到達目標/Course goals	1. 自分が必要とする情報を正しく適切に読み取ることができる。2. 基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験40%、ペアでの会話発表10%、積極的な授業への参加状況10%、e-Learning教材学習テスト40% (60点以上合格)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	テキストには音声が付いているので、リーディングの課題であっても音声を確認すること。内容がよくつかめないときは、「何がわからないのか」を明らかにしてください。文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。リスニングに関しては、一度で完全に聞き取れる人はなかなかいないですから、何度も繰り返し聞いてください。1日5回、10回 それを2日、3日と続けていくうちに、少しずつ英語の音が耳に入っていくようになります。最初は1つの単語、1つの母音・子音だけでも構わないので、聞き取れた音を書き取ってみてください。継続していけば、必ず書き取れる量が増えていきます。それで自分が聞き取れるようになっていっていることが確認できると思います。授業の後で再度その内容を振り返ることで英語が定着していきますので、忘れないうちに復習しましょう。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	John H. Randle 『鼓動するイギリス』(成美堂、2018年)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には必ず予習復習をして臨み、辞書を持参してください(通話・メール機能の付いた電子機器の電子辞書としての使用は原則不可です)。3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います(入院・出席停止の伝染病等を除き病欠も欠席扱いとします。正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可))。授業開始時刻から30分までは遅刻扱いとなります。それ以降の入室は欠席扱いとなります。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	予習・授業・復習をセットにして頑張りましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
1回 (10月3日)	オリエンテーション
2回 (10月10日)	The Brexit Referendum(1)
3回(10月17日)	The Brexit Referendum(2) / The New Mayor of London(1)
4回 (10月24日)	The New Mayor of London(2) / Brits on Bikes(1)
5回 (10月31日)	Brits on Bikes(2) / Oxford and Cambridge: Looking to the Future(1)
6回 (11月7日)	e-Learning教材学習テスト1回目 / Oxford and Cambridge: Looking to the Future(2)
7回 (11月14日)	A Profile of Cornwall(1) / 英字新聞を読む
8回 (11月21日)	A Profile of Cornwall(2) / The Cost of Being Young Today(1)
9回 (11月28日)	The Cost of Being Young Today(2) / It All Began at Rugby School(1)
10回 (12月5日)	It All Began at Rugby School(1) / Britain and the Sea(1)
11回 (12月12日)	The Britain and the Sea(2) / Images of Scotland(1)
12回 (12月19日)	Images of Scotland(2) / "The New Look": Beards and Tattoos(1)
13回 (1月9日)	e-Learning教材学習テスト2回目 / "The New Look": Beards and Tattoos(2)
14回 (1月16日)	ペア発表
15回 (1月23日)	リスニング・リーディングのポイント確認
16回 (1月30日)	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011027	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英1)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松元 浩一 / Koh-ichi Matsumoto		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kmat nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部本館617号室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日12:00 ~ 12:50		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	(1) TOEIC, TOEFL等の読解テストにも役立つように英文を正確に読み(精読), 早く読み解くこと(速読)ができる。 (2) 英文中の重要な語句や表現を習得し, 英語による表現(英作文・英会話)にも応用できる。		
授業到達目標/Course goals	TOEICの読解力問題で70%~80%くらいの正解を得ることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	(1) 授業内容に関する確認テスト第1回~3回の成績 60% (2) e-learning教材学習テスト 40% (この点に関しては第1回目の授業時に説明する) (3) 「便覧」にあるとおり, 授業総回数の3分の1以上欠席した学生は受験資格を認めない。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	読解力(精読・速読), 表現力		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Hearn, Keller, Dick, and Lynd. Reading English Step by Step. 音羽書房鶴見書店.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	学生便覧を参照。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には毎回英和辞書を(可能ならば英英辞書も)持参すること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	授業の進め方, 評価の説明, 教科書の説明, 単元 Hearn, "A Dead Secret" (1)		
第2回	"A Dead Secret" (2)		
第3回	Hearn, "Yukionna" (1), リスニング練習		
第4回	"Yukionna" (2)		
第5回	授業確認テスト第1回, リスニング練習, "Yukionna" (3)		

第6回	e-Learning教材学習テスト1回目
第7回	Hearn, "Oshidori" (1)
第8回	"Oshidori" (2), リスニング練習
第9回	Keller, "The Story of my Life" (1)
第10回	授業確認テスト第2回, リスニング練習, "The Story of my Life" (2)
第11回	"The Story of my Life" (3)
第12回	"The Story of my Life" (4)
第13回	e-Learning教材学習テスト2回目
第14回	Dick, "The Cookie Lady" (1)
第15回	"The Cookie Lady" (2)
第16回	"The Cookie Lady" (3) 確認テスト第3回 (期末テスト), リスニング練習

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011028	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英2)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	稲毛 逸郎 / Inage Iturou		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟24 / RoomA-24		
対象学生(クラス等) / Target students	L2		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	inage@agasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部 6F 618 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2093		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 16:10?17:40		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	これまでの英語学習をふまえて、英語の読む・書く・聞く・話すの4技能の能力をさらに伸ばし、総合的な英語運用能力を育成することをねらいとする。		
授業到達目標/Course goals	英語の4技能の訓練を通して、TOEIC550点以上が獲得できる総合的英語力の育成を目標とする。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	期末試験(60%)、e-learning教材学習テスト(40%)を基準に評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	教科書の予習・復習を徹底して行うこと。		
キーワード/Key word	英語の4技能、総合的訓練		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Reading Stream. Intermediate.KINSEID0. by O. Takeuchi 他.		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	E-learning への取り組み及び授業での発表活動に対する評価が大きな割合を占めますので、積極的に英語学習に取り組んでください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	受講にあたっての諸注意、授業内容についての導入 Pink Carnations Scanningのスキルについて
第2回	The History of Jeans Using Titles to Understand Main Ideas (Gist)
第3回	To Long Life! Skimming for the Main Idea
第4回	Be Careful What You Wish For Recognizing Sequence of Events
第5回	Baseball and Cricket Identifying Main Ideas within Paragraphs (1)
第6回	第1回e-Learning教材学習テスト In Our Blood or in Our Minds Predicting のスキル
第7回	Know Yourself, Know the Market Inferring のスキル
第8回	Brainstorming Identifying Main and Supporting Ideas
第9回	A Good Consumer Understanding Main Ideas (Gist)
第10回	Welcome to he Hall of Fame! Identifying Main Ideas withing Paragraphs (2)
第11回	Special Circumstances Developing Reading Fluency (1)
第12回	Lies and Statistics Developing Reading Fluency (2)
第13回	第2回e-Learning教材学習テスト Builders Break Ground on Blackwood Bridge Project To Read Newspaper Articles
第14回	Coded Communication Developing Reading Fluency (3)
第15回	Lucid Dreaming Developing Reading Fluency (4) 授業のまとめ
第16回	定期試験実施

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011029	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英3)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生(クラス等) / Target students	教育学部 L(英3)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikeda_shiga yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	水曜日 2時30分より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	興味深い内容の、多彩なトピックの英文を通して、物事に対する関心を益々高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、話す為・書く為の英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英語の読解と英文解釈の方法を学び、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、物事に対する考えをより深めることができる。		
授業到達目標/Course goals	様々な事象に対して関心を持ち、将来に役立てることができる。表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養うことができる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基を養成することができる。発音の改善ができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験 50%、e-learning 40%、小テスト10%を基準とします。 定期試験を筆記で行います。 課外学習のe-learningに関しては、第1回目の授業の際に説明します。 また、受講中の活動や態度を非常に重視します。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回必ず、英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨むこと。授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点がないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認をしますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード / Key word	リーディング / リスニング / 英文法 / 英作文 / 多彩な関心を引くトピック		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Read Smart PLUS 『楽しく読もう! 総合英語演習 2』 (安浪誠祐 / Richard S. Lavin : センジャー・ラーニング株式会社) 音声はダウンロード形式です。http://cengage.jp/elt/JapaneseFourSkills 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には全回出席しましょう。発音など声を出しての活動は、積極的に参加することを期待します。必ず予習をして、音声を聴いてから臨んでください。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業には必ず予習をして臨んで下さい。音声を聴き、英単語の意味をあらかじめ調べて、文章の大意をつかみ、テキストの問題も解いておきましょう。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 10月3日	導入・授業内容の説明
第2回 10月10日	Unit 1 When in Rome ...
第3回 10月17日	Unit 2 This Is Good !
第4回 10月24日	Unit 3 Abraham Lincoln's Dream
第5回 10月31日	Unit 4 Just a Magic Trick ?
第6回 11月7日	【第1回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 6 The Lucky Silk Scarf
第7回 11月14日	Unit 5 Never the Twain Shall Meet ?
第8回 11月21日	Unit 7 A Way with Words
第9回 11月28日	Unit 8 What Planet Are You from ?
第10回 12月5日	Unit 9 What Are You Waiting for ?
第11回 12月12日	Unit 11 Cheaters Never Prosper
第12回 12月19日	Unit 12 Inside the World of Fear
第13回 1月9日	【第2回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 13 Using Your Brain
第14回 1月16日	Unit 14 Emotional Intelligence
第15回 1月23日	Unit 15 The Trouble with E-mail
第16回 2月6日	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011030	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英4)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	廣江 顕 / Akira Hiroe		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	廣江 顕 / Akira Hiroe		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students	L4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ahiroe nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	言語教育研究センター廣江研究室(環境科学部1階)		
担当教員TEL/Tel	095-819-2378		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールにより随時受け付ける		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	論理的に大意を素早く日本語でまとめる訓練を行う。		
授業到達目標/Course goals	まとまった英文の大意をつかみながら、日本語と英語で要約ができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-Learning教材学習テスト(3Step CALL System, Power Words)(40%), 予習チェック(20%), 定期試験(40%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review			
キーワード/Key word	rapid reading, listening, e-learning materials		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	『ニュースとエッセイで読む健康、自然、生命』、英宝社、1800円(税別)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	Introduction, sample listening test, e-learning教材の説明		
第2回	Listening 1, テキストUnit 1		

第3回	Listening 2, テキストUnit 2
第4回	Listening 3, テキストUnit 3
第5回	Listening 4, テキストUnit 4
第6回	e-learning教材学習テスト(1) (約30分程度) テキストUnit 5
第7回	Listening 5, テキストUnit 6
第8回	DVD教材(1), テキストUnit 7
第9回	DVD教材(2), テキストUnit 8
第10回	Listening 6, テキストUnit 9
第11回	Listening 7 テキストUnit 10
第12回	Listening 8, テキストUnit 11
第13回	e-learning教材学習テスト(2) (約30分程度) テキストUnit 13
第14回	Listening 9, テキストUnit 14
第15回	まとめ、テキストUnit 15
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011031	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英5)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	奥田 阿子 / Ako Okuda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	奥田 阿子 / Ako Okuda		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟36(call2) / RoomC-36(call2)		
対象学生(クラス等) / Target students	L5		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	a-okuda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日3限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	授業外ではインプットを重視したりリスニングを行い、授業中にはアウトプットを重視した活動を取り入れる。		
授業到達目標/Course goals	情報収集を行ったものに対し、英語を用いて相手に伝えられるようになること。 自分の行動を英語を用いて時系列で相手に伝えられるようになること。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	e-learning教材学習テスト: 40% 授業中の取組、提出物: 30% e-learningポートフォリオ: 10% 期末テスト: 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	ビデオ教材を視聴し、課題を提出すること。		
キーワード / Key word	PBL、Challenge、プレゼンテーション、学習方略		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book			
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	

第1回	オリエンテーション 教材の説明、成績についての説明 グループ作り アンケートの実施	A B
第2回	英語の学習方法について考える ① プリント教材 グループディスカッション	A B
第3回	英語の学習方法について考える A プリント教材 グループディスカッション	A B
第4回	Challengeすることについて考える ① "What I Wish I Knew When I Was 20"を読み解く グループディスカッション	A B
第5回	Challengeすることについて考える A "What I Wish I Knew When I Was 20"を読み解く グループディスカッション	A B
第6回	e-learning教材学習テスト(1回目) Challengeすることについて考える B "What I Wish I Knew When I Was 20"を読み解く グループディスカッション	A B
第7回	Challengeすることについて考える C "What I Wish I Knew When I Was 20"を読み解く グループディスカッション	A B
第8回	Challengeする ① "What I Wish I Knew When I Was 20"から得た知識や考え方をもとに 、グループでChallengeしてみたいことを考える。	A B D
第9回	Challengeする A "What I Wish I Knew When I Was 20"から得た知識や考え方をもとに 、グループでChallengeしてみたいことを考える。(計画立案)	A B D
第10回	Challengeする B "What I Wish I Knew When I Was 20"から得た知識や考え方をもとに 、グループでChallengeしたことをまとめる。	A B
第11回	Challengeする C "What I Wish I Knew When I Was 20"から得た知識や考え方をもとに 、グループでChallengeしたことをまとめる。	A B
第12回	Challengeする D グループでChallengeしたことを発表する。	A B
第13回	e-learning教材学習テスト(2回目) Challengeする E グループでChallengeしたことを発表する。	A B
第14回	フィードバックと振り返り	A B
第15回	まとめ	A B
第16回	期末テスト	E

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	水 / Wed 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/23		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011032	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (L(英6)) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	加島 巧 / Kashima Takumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	加島 巧 / Kashima Takumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟33 / RoomA-33		
対象学生 (クラス等) / Target students	L(英6)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kashima tc.nagasaki-gaigo.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控え室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業時間の前後		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	ねらい: 簡単な英語で書かれたテキストを読みながら、様々な練習問題を解いていくことで、英文の理解を深めます。併せて、プリントの使用で、様々な英語の問題を解いてゆきます。		
授業到達目標/Course goals	到達目標: 大学入学時まで培われてきた総合的な学力を前提に辞書なしでもテキストの英語を読めるようになることを目指します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験60% e-Learning教材学習テスト40% (1回目20% + 2回目20%)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回指定された分量のテキストを読んで、授業に臨むこと。		
キーワード / Key word	1400語の語彙で書かれたテキスト 英語史		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	The History of the English Language (Oxford Univ. Press) 第1回目の授業で教室で販売します。 プリント		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	定期試験の受講資格は規定による。教科書は必ず購入すること。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業中の携帯電話の使用は厳禁とします。遅刻もしないように。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	イントロダクション		
第2回	A world language		
第3回	The beginnings of English		
第4回	Old English		
第5回	The Normans in England		

第6回	e-Learning教材学習テスト1回目
第7回	Middle English
第8回	Modern English begins
第9回	Bringing order to English
第10回	Modern English grows
第11回	English in the US
第12回	All kinds of English
第13回	e-Learning教材学習テスト2回目
第14回	Jargon and slang
第15回	The future of English

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011033	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	松田 雅子 / Matuda Masako		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	松田 雅子 / Matuda Masako		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟35(call1) / RoomC-35(call1)		
対象学生(クラス等) / Target students	T3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	hijimasako yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	木曜日お昼休み		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	英語リスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの4技能の向上を図ります		
授業到達目標/Course goals	自分について、身近な事からについて、発信できる英語力をつけます。TOEICリーディング問題に慣れ、ポキャブラリーを習得します。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	定期試験50%、e-Learning教材学習テスト2回40%、speaking test 10%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	ポキャブラリーを覚えること。また、スピーチを作り、何回か練習する		
キーワード/Key word	リピーティング、リーディング、音読		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Openvoice Workbook Basic, Kaigai Connection、TOEIC TEST リーディングスピードマスター-New Edition (成重寿、Jリサーチ出版)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	欠席をしないようにすること、また教科書は購入してください。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。		
備考(URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	英語でのスピーチやリーディングを楽しみましょう		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	オリエンテーション 教科書Unit 1 読解問題の流れと問題の特徴 Workbook 1
第2回	教科書Unit 1 読解問題の流れと問題の特徴 Workbook 1
第3回	教科書Unit 2 解き方の基本 Workbook 2
第4回	教科書Unit 2 解き方の基本 Workbook 2
第5回	教科書Unit 3 8種類の設問の対策 Workbook 3
第6回	e-Learning教材学習テスト1回目 教科書Unit 3 8種類の設問の対策 Workbook 3
第7回	教科書Unit 4 問題文の種類 Workbook 4
第8回	教科書Unit 4 問題文の種類 Workbook 4
第9回	教科書Unit 5 表現の言い換え Workbook 5
第10回	教科書Unit 5 表現の言い換え Workbook 5
第11回	教科書Unit 6 タイムマネジメント Workbook 6
第12回	教科書Unit 6 タイムマネジメント Workbook 6 スピーキングテスト
第13回	e-Learning教材学習テスト2回目 教科書Unit 7 速読テクニック Workbook 7
第14回	教科書Unit 7 速読テクニック Workbook 7
第15回	教科書Unit 8 問題練習 Workbook 8
第16回	期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011034	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T4) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	大坪 有実 / Ootubo Yumi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟31 / RoomA-31		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	r_otsubo hotmail.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL / Tel	r_otsubo hotmail.co.jp		
担当教員オフィスアワー / Office hours	E-mailで受け付けます。r_otsubo hotmail.co.jp		
授業の概要及び位置づけ / Course overview and relationship to other subjects	科学技術、社会生活、医学、動物学、生命倫理と宇宙における科学の恩恵について書かれた英文を通し、科学の発展について理解を深める、読解を中心とした授業です。		
授業到達目標 / Course goals	1. テキストで扱うトピックを多角的視点から捉えることができるようになる。 2. 論理的・批判的に物事を考える能力を身につけることができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	授業への取り組み・復習テスト20% + e-Learning 教材学習テスト40% + 定期試験40% = 合計100%のうち60%以上を合格とする。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前にテキストで扱うトピックについてインターネットや書籍を用い、テキスト内に出てくる専門用語について調べておいて下さい。また、翌週に復習テストを行うのでしっかり復習しておいて下さい。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Science in Our Daily Life 科学の恩恵と私たちの暮らし 成美堂 ¥1,900 + 税		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業は全回、予習をして臨んで下さい。 授業参加について Introductionで説明をしますので必ず1回目の授業に出席して下さい。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回 (日時) / Time (date and time)	授業内容 / Contents		
1回目	教科書販売・Introduction		
2回目	Phone Dirt Reveals Personal Data		
3回目	復習テスト Driverless Buses		
4回目	復習テスト Stealth Keys		

5回目	復習テスト Unfamiliar Sources of Energy
6回目	e-Learning 教材学習テスト1回目 Delivery by Drone
7回目	復習テスト Uber and its Future
8回目	復習テスト Convenience Stores in Japan
9回目	復習テスト Learn English with a Robot
10回目	復習テスト Noise Level and Disease
11回目	復習テスト Reading Faces
12回目	復習テスト Meditation and Sports
13回目	e-Learning 教材学習テスト2回目 Digital Disabilities
14回目	復習テスト Euglena Dietary Supplements
15回目	復習テスト Facts about Koalas
16回目	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/01/24		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011035	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K2) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	古場 なおみ / Koba Naomi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	古場 なおみ / Koba Naomi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育C棟26 / RoomC-26		
対象学生 (クラス等) / Target students	環境 (K2)		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kobaknke yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	講義の前夜		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	(1) 世界からの様々なジャンルを題材にした教材を用い、生きた英語に触れ、また、語彙、リスニング、内容読解、スピーキング等のエクササイズによって総合的な英語力の向上をはかる。 (2) アメリカのテレビニュース番組の英語に慣れ親しむ。		
授業到達目標/Course goals	テレビニュースの英語に慣れ、国際的なコミュニケーションの道具としての英語力を身につけることができるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	教員評価分60%(定期試験30%、小テスト、出席、授業への取り組み30%)、e-learning教材学習テスト(3step・Power Words)40%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業前の予習、次回小テストのための復習必須		
キーワード/Key word	テレビニュース英語		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	CNN10- Student News - (Asahi Press)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.	毎回、予習の上で授業に臨むこと。5回欠席(2回遅刻で1回欠席とみなす)で失格とする。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	授業中に指示		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
第1回	自己紹介、授業の進め方、評価等の説明		

第2回	CNN10- Student News: テレビニュース英語とは Unit 1 (Why Do English Keyboards Have QWERTY?)
第3回	CNN10- Student News: Unit 1 (Why Do English Keyboards Have QWERTY?)
第4回	CNN10- Student News -: Unit 2 (How to Avoid Fake News)
第5回	CNN10- Student News -: Unit 2 (How to Avoid Fake News)
第6回	e-learning教材学習テスト1回目 CNN10- Student News -: Unit 8 (Sugar Guidelines)
第7回	CNN10- Student News -: Unit 8 (Sugar Guidelines)
第8回	CNN10- Student News -: Unit 9 (Trying to Fill Cinemas with 4DX)
第9回	CNN10- Student News -: Unit 9 (Trying ti Fill Cinemas with 4DX)
第10回	CNN10- Student News-: Unit 10 (New Technology for the 2020 Tokyo Olympics)
第11回	CNN10- Student News -: Unit 8 (New Technology for the 2020 Tokyo Olympics)
第12回	CNN10- Student News-: Unit 12 (Trying to Be a Santa)
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 CNN10- Student News -: Unit 12 (Trying to Be a Santa)
第14回	CNN10- Student News -: Unit 15 (A Fishing Community Threatened by Reef Changes)
第15回	CNN10- Student News-: Unit 15 (A Fishing Community Threatened by Reef Changes)
第16回	期末試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011036	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T6) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	山崎 祐一 / Yuichi Yamasaki		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生(クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	yamasaki_sun.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	異文化理解に関する問題を数多く取り上げ、リスニングとスピーキングを中心とした英語運用能力を強化しつつ、外国語習得に必要な不可欠な目標言語圏の文化的背景を学ぶ。		
授業到達目標/Course goals	コミュニケーション活動を通して、実用的、且つ斬新な英語表現を習得する。また、英語圏の文化、地理、日常生活について知見を広めていく。英語圏における行動様式を、英語圏に住む人々の意識や価値観に強く訴える性質を有するものとして観察し、その中に見ることが出来る英語圏と日本における文化や思想の違いについて理解する。また、日本人にとって困難な英語の発音を、日本語との比較を通して解説し、その習得を目指す。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	e-Learning教材学習テスト(3step CALL System, Power Words) 40% Midterms 20%, Final Exam 20%, Class Participation 20%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法)/Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	毎回の予習復習として、会話表現を音読し暗記する。また、英語圏文化の特徴について指定の章を読んでおく。		
キーワード/Key word	異文化間コミュニケーション、スピーキング、リスニング、発音		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	Viva! San Francisco (マクミラン・ランゲージハウス)		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考(URL)/Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	遅刻・欠席に注意してください。英語や異文化について楽しく学びましょう!		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method	
第1回	英語の音声システム(日本語との比較と発音練習)	B	
第2回	Getting Information	B	
第3回	Checking in at a Hotel	B	

第4回	Asking for Directions	B
第5回	Renting a Car	A
第6回	Ordering a Meal	B
第7回	e-Learning教材学習テスト1回目 中間テスト @	B
第8回	Shopping for Clothes	B
第9回	Asking for a Favor	B
第10回	Meeting a Friend	B
第11回	Checking out of a Hotel	B
第12回	Expressing Preference	B
第13回	e-learning教材学習テスト2回目 中間テスト A	B
第14回	Home Stay	A
第15回	まとめ	B
第16回	期末試験	A

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011037	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T7) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	高橋 明香 / Takahashi Sayaka		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟13 / RoomA-13		
対象学生 (クラス等) / Target students	工 T7		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	sayaka.university gmail.com (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	sayaka.university gmail.com		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月 12 : 10 ~ 12 : 30 (メールにて事前に連絡必要)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	学生中心のアクティブラーニング型の授業です。今までインプットした単語や文法力などを存分に生かしアウトプットすることによって英語の総合力向上を目指します。		
授業到達目標/Course goals	1・英語を発話することに慣れる 2・音読練習を通し単語力・発音・リスニング力を向上させる (TED English central) 3・グループワークを通し他のグループメンバーといかに協力しプレゼンテーションを成功の為に自ら考え実行に移す		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents of the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	Speaking Practice (10点) + プレゼンテーショングループ評価 (20点) + 定期試験 (20点) + レポート提出 (10点) + e-learning教材学習テスト (40点)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	授業時に行う音読の練習を授業後にも行ってください。プレゼンテーション用の原稿に関しても期日までに作成終了するよう授業時間で終われない分は事後学習になります。また、英語環境を作るために英語で英語やドラマの鑑賞を積極的に行ってください。各自目指している英語の試験がある場合は問題集などに取り組みましょう。		
キーワード / Key word			
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	授業時にプリントを配布します		
受講要件 (履修条件) / Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」(障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support_ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	これからの学習、及び社会に出た後に英語を実際に使えるように、この授業を通し練習をします。今まで学んできたリスニング力、語彙力、文法力を総合的に活用するよう試みてください。授業終了後に英語をアウトプットする事に慣れ、少しでも自信をつけてくれたら幸いです。全員、積極的に参加してください。		
授業計画詳細 / Course Schedule			

回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9/28	Orientation Speaking activity Group activity
第2回 10/5	Listening activity Speaking activity Group activity
第3回 10/12	Listening activity Speaking activity Group activity
第4回 10/19	Listening activity Speaking activity Group activity
第5回 10/26	Listening activity Speaking activity Group activity
第6回 11/2	Listening activity Speaking activity Group activity
第7回 11/9	e-learning test @ Speaking activity Group activity(rehearsal)
第8回 11/16	Presentation @
第9回 11/30	Listening activity Speaking activity Group activity
第10回 12/7	Listening activity Speaking activity Group activity
第11回 12/14	Listening activity Speaking activity Group activity
第12回 12/21	Listening activity Speaking activity Group activity
第13回 1/11	e-learning test A Speaking activity Group activity(rehearsal)
第14回 1/25	Presentation A
第15回 2/1	Listening activity Speaking activity
第16回	定期試験

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 3
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011038	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T8) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	吉村 宗司 / Yoshimura Soshi		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育G棟38 / RoomG-38		
対象学生(クラス等) / Target students	T8		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	soshi tea.ocn.ne.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	14:20? (授業時の教室)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで『聞く』ことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(及び米語)?必要最低限の英語(及び米語)?を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。位置づけとしては、その能力促進に力点を置いたものと言える。		
授業到達目標/Course goals	<p>①英語音声学の知見に基づく授業を通して、英語の音変化の特徴や法則性を理解し、現状以上に英語聴解力を向上させることができる。</p> <p>A習得した英語の音変化の特徴や法則性を日常英会話に応用させるべく、実際に英語を使ってコミュニケーションを図る際、円滑な意思の疎通を可能とする正確な発音ができる。</p> <p>B習得した英語表現を日常英会話に応用させ、現状以上に英語発話力を向上させることができる。</p> <p>C各種英語資格・検定試験等のリスニング部門で現状以上の得点をあげるとともに、実用英語運用能力を向上させることができる。</p> <p>D英文の速読、及び直読直解ができる。</p> <p>E日本と諸外国の市民レベルでの生活習慣や生活文化等の差異を正しく認識し、日本人とは異なる価値観や行動様式を持つ人々の存在と多様性を理解することができる。</p> <p>F異文化理解の視座から、固定観念で物事を断定せず、常に判断の保留の気持ちと態度を持ってコミュニケーションを図ることができる。</p>		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	<p>主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society</p>		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動
 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動
 / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動
 / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動
 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法
 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される
 / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験50%、受講態度、及び授業中の自発的な演習活動(授業中の発表等)10%、課外学習のe-Learning教材学習テスト40%(1回目20%+2回目20%)等の総合判定によって評価を行なう。なお、課外学習のe-Learningに関しては第1回目の授業の際に説明する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	事前学習としては、予習時に前週の履修内容を再確認するとともに、出された課題には確実に取り組んで授業に臨んでいただきたい。事後学習としては、履修事項の復習と指示を行なった音声面のトレーニングを翌週の授業まで継続させておくことを必須としたい。		
キーワード / Key word	音法、リピーティング、シャドーイング、オーバーラッピング、クイックレスポンス、直読直解、異文化理解		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	英語リスニング 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材)		

受講要件（履修条件）/Prerequisites, etc.	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。なお、授業時には発表活動（積極的かつ自発的な発言等）が求められるが、これをポイント制として成績評価の際に加点するため、自主的な姿勢で臨んでほしい。
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support_ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業時には辞書必携です。授業時間内での学習のみで能力を促進させるには限界があるため、例えばNHK教育テレビやラジオの語学番組等を視聴、聴取するなど、とにかく毎日英語に接する時間を捻出することが望まれます。英語に親しむことを習慣にできれば上達は必ず期待できます。限られた時間ですが、一緒にがんばりましょう!!
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション（授業方針についての説明、教材の配布、アンケートほか） / 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか？』?分析結果の報告と対策法について
第2回	プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/
第3回	/r/と//の発音、子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説
第4回	子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック
第5回	『音の連結』を聞き取るパターン（リエゾンの原則）、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化
第6回	連結しない場合の//, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化
第7回	e-Learning教材学習テスト（1回目）、『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン
第8回	『同化』を聞き取るパターン(1)（半母音/j/に絡む音変化 ①）
第9回	『同化』を聞き取るパターン(2)（半母音/j/に絡む音変化 A）、『調音点が近い子音の連続』を聞き取るパターン
第10回	『同化』を聞き取るパターン(3)（/n/の後続音への影響）
第11回	On an Airplane(1)
第12回	On an Airplane(2)
第13回	e-Learning教材学習テスト（2回目）、At an Airport(1)
第14回	At an Airport(2)
第15回	Taking a taxi、まとめ
第16回	定期試験 上記授業内容に関する補足 基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、トレーニングに加え、毎回詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定が変動する場合もある。

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011039	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (T5) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	池田 俊也 / Ikeda Toshiya		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目(既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目(英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室 / Room 23		
対象学生(クラス等) / Target students	T4		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	t-ikeda nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部本館6階(621号室)		
担当教員TEL/Tel	819-2092		
担当教員オフィスアワー/Office hours	在室時随時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	?大学入学時までに習得した、総合的な英語力をさらに伸ばすこと。とりわけ、「読み」「書き」「聞き」「話す」という4つのスキルのうち、「読解力」「聴解力」に重点を置く。 ?「読解力」指導については、内容に応じて、音読及びボトムアップ、トップダウン的読解方法の実践指導を行う。		
授業到達目標/Course goals	?要点を的確につかみ取る英語読解力と基本的な英語聴解力を身につけること。 ?TOEIC Test で500点以上の高得点を取れるような日常的努力を目指し、コールシステムなどの機材を活用する積極性を持つこと。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	期末筆記試験(60%), e-Learning教材学習テストの結果(40%)など教養教育(英語)の規則に従って、評価する。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	授業前に指定した箇所までの予習を完了し、問題点を明確にした上で、授業に臨むこと。		
キーワード / Key word	Practice of "critical reading"		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	Hideaki Ito, Practical Faster Reading, 朝日出版		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	指定クラスの学生及び再履修学生		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948		
備考 (URL) / Remarks(URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	毎日のEラーニング(自習教材)の活用、授業前の予習等規則的な学習に努めること。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		

第1回	以下のおおまかな順番で授業を進める。 第1回：授業概要（テキストを通じた授業内容の説明） Unit 1 :Money
第2回	第2回： Unit 2: Diamonds
第3回	第3回： Unit 3 : Canning food
第4回	第4回： Unit 4 :The Olympic Games
第5回	第5回： Unit 5 : Dreams-- what do they mean?
第6回	Unit 6 :The planemakers
第7回	第7回： e-Learning教材学習テスト（第1回） Unit 7: Auction sales
第8回	第8回： Unit 8: To be or not to be a vegetarian
第9回	第9回： Unit 9 :The history of chemistry
第10回	第10回： Unit 10 :The United Nations
第11回	第11回： Unit 11 :Paturizations
第12回	第12回： Unit 12 :Modern surgery
第13回	第13回： e-Learning教材学習テスト（第2回） Unit 13: Smoking and cancer
第14回	第14回： Unit 14: Rabies
第15回	第15回：まとめと定期試験のための質問タイム
第16回	定期試験（筆記）：形式については第15講の授業時に説明

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 後期 / Second Semester	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 4
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2019/02/01		
必修選択 / Required/Elective class	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	1.0/1.0/1.0
時間割コード / Time schedule code	20180590011040	科目番号 / Subject code	05900110
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEEN 11213_032		
授業科目名 / Subject	総合英語 (K3) / Comprehensive English		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	藤本 ゆかり / Fujimoto Yukari		
科目分類 / Class type	A科目群 外国語科目 (既習), 外国語科目, B科目群 外国語科目 (英語), 外国語科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟41 / RoomA-41		
対象学生 (クラス等) / Target students	環境科学部 K 3		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ikedashiga@yahoo.co.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2078 (教養教育事務室)		
担当教員オフィスアワー/Office hours	金曜日 4時より		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	環境や健康などの問題に関するCNNニュースを用いて、興味深い内容の英文を通して、環境問題や健康、および世界情勢に対する関心をさらに高め、知識を得、役立てる。フレーズ・リーディングという方法により、英語の理解度を高めると同時に、書く・話すための英文を作り上げる能力と技能を伸ばす。また、この方法を繰り返して練習することで、聴く力を養う。総合的な英語の技能を定着させ、さらに向上させる。また、英文法の復習を行い、英語の基礎及び応用力を身に付ける。また、英字新聞を読む自信をつける。テキストの練習問題を通して、英語の4技能の総合的な向上を目指す。		
授業到達目標/Course goals	環境問題や健康に対して関心を持ち、考えを深めることができる。書いたり話するための表現したいことを組み立てるための基本的な能力を養い、さらに向上させる。英文を英語で理解し(読み・聴き)、英語で考えて英語を使う(話す・書く)能力の基礎を養成し、確かなものにする事ができる。発音の改善ができる。和訳の技術を高めることができる。応用的な文法の運用ができるようになる。各自で目的を再認識し、英語の学習に対する意欲を持てるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動 / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Grading	定期試験の成績を50%、e-learning教材学習テストの結果を40%、小テストを10%を基準とします。 また、受講中の態度や活動を非常に重視しますので、注意しましょう。		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容 / Preparation & Review	毎回必ず英単語を調べ、英文テキストを読み、音声教材を聴き、問題を解いて、授業に臨みましょう。 授業後は改めてテキストを熟読し、疑問点が残らないように理解を確かなものにします。小テスト等で確認しますので、予習・復習を徹底しましょう。		
キーワード / Key word	リーディング / リスニング / スピーキング / 環境 / 健康 / 医療 / CNNニュース / 世界情勢 / 英作文		
教科書・教材・参考書 / Textbook, Teaching material, and Reference book	『CNNニュースを用いたリスニング・リーディング スキルアップ』(小笠原真司他: 朝日出版社)(CD付き) 英和辞典(電子辞書)を必携すること。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites, etc.	授業には全回出席することを期待します。毎回必ず予習をしてCDを聴いてから臨みましょう。発声を伴う学習の際は、積極的に参加してください。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	授業には必ず予習をして臨んでください。英単語の意味を予め調べておき、文章の大意をつかんでおきます。目標を定めて、たゆまぬ努力をしましょう。		

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 9月28日	導入・授業内容の説明
第2回 10月5日	Unit 1 Antislimming Hormones / Chocolate's Slimming Effects ?
第3回 10月12日	Unit 2 Early Birds Happier and Healthier ? / New Role for Insulin ?
第4回 10月19日	Unit 3 Reef under Growing Threat / Surprising Algae under Article Ice
第5回 10月26日	Unit 4 Cancerous Coloring ? / A Menu after One's Heart
第6回 11月2日	Unit 6 Gene Linked to Longer Sleep / Sleep Linked to Heart Health
第7回 11月9日	【第1回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 5 Clues to Einstein's Genius / Life Created from Skin Cells
第8回 11月16日	Unit 7 Amazon Dam Gets Go-ahead / Moving a Nation, Litterally
第9回 11月30日	Unit 9 15 Million Tonnes Overweight / Penalties for Not Exercising
第10回 12月7日	Unit 10 Pandemic of Inactivity / Red Meat Tied to Early Death
第11回 12月14日	Unit 11 Debugging at Starbucks / New York Bans Large Sodas
第12回 12月21日	Unit 13 Dangerous Smog in Beijing / Record Smog in Beijing
第13回 1月11日	【第2回 e-learning 教材学習テスト】 Unit 12 Panda-enhanced Tea / Tequila Museum in Mexico
第14回 1月25日	Unit 14 Concern about Quick-tempo TV / The Fear of Being Phoneless
第15回 2月1日	Unit 15 Sharks under Threat / Shark Fin Goes Off the Menu
第16回 2月8日	定期試験